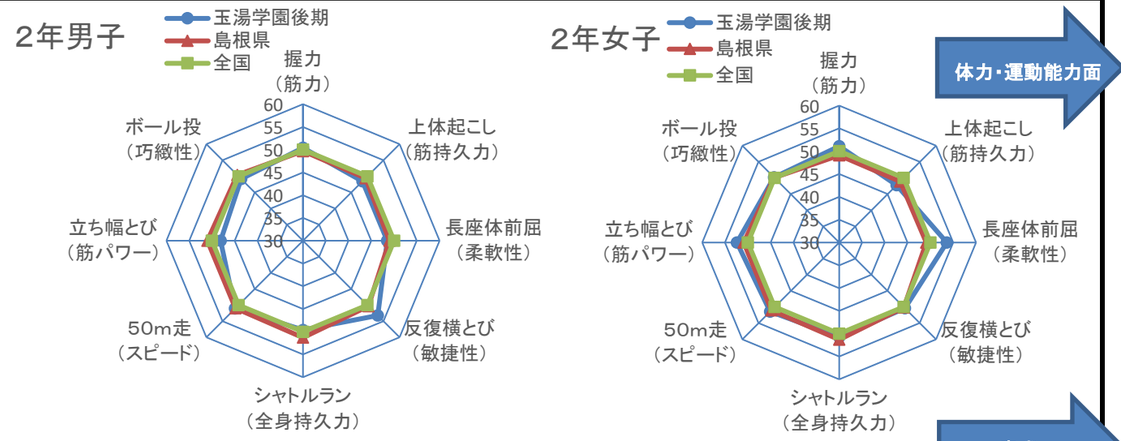
【資料1】

令和4年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和5年3月29日

松江市立義務教育学校玉湯学園（後期課程）

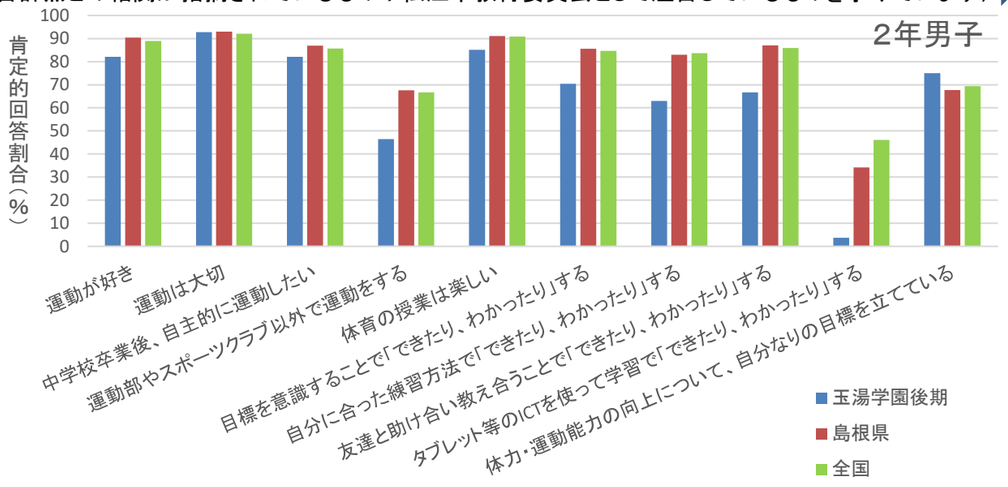
（1）令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

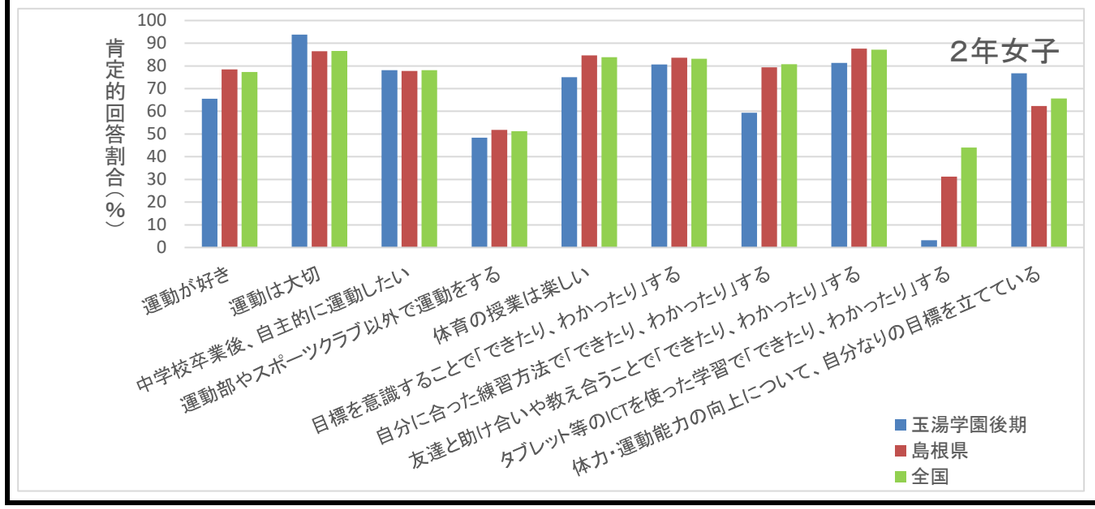


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





（2）調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	0.4	−1.5	−1.5	3.2	−0.4	1.1	−1.9	−0.8
女子	1.1	−2.2	3.6	0.4	0.7	1.4	2.4	0.2

【−5p以上】	【−5〜−2p】	【−2〜0p】	【0〜2p】	【2〜5p】	【5p以上】
弱み ←					→ 強み

②意識面　全国（割合%）との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後、自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することでできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いでできたりわかったりする
男子	−6.8	0.7	−3.6	−20.3	−5.8	−14.3	−20.7	−19.2
女子	−11.7	7.2	0.0	−2.8	−8.8	−2.5	−21.4	−5.9

	タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする	体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている
男子	−42.4	5.6
女子	−40.8	11.0

【−7%以上】	【−7〜−3%】	【−3〜0%】	【0〜3%】	【3〜7%】	【7%以上】
弱み ←					→ 強み

（3）令和5年度の方針【学校全体での取組】

①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・体育の教員が1名なので、武道の授業など以前から使用している授業環境を改善しながら、授業内容を生徒の実態に合わせたり、研修会での内容を取り入れたりと工夫して行っている現状である。
・今年度は前期課程の研究授業と授業研究に参加し、情報交換を行った。このように校内で研究授業がある場合は、お互いに参加し、情報交換をしながら前期、後期で連携した授業内容にしていきたい。

②体育科授業の工夫・改善について
・授業においてグループの友人に動きを評価してもらい、そのアドバイスや実技の本などの情報を材料に、自分の技能を高めるため学習カードを活用した。他者の助言により課題を発見し、解決していく姿が見られた。来年度も生徒相互で協力しながら行う取組を多くしていきたい。
・シャトルラン（スポーツテスト）の実施時期が遅くなり、気温が高い中での計測となってしまった。その結果7年男子の他はTスコアが50を下回ってしまった。来年度は計測時期を考えたい。
・コロナ下のためペアで行う腹筋運動を控えていたせいか、「上体起こし」の結果が悪かった。授業はじめのトレーニングなどで、腹筋運動を取り入れていきたい。

③体育授業以外の活動の工夫について
・ロードレース（8Km）に向けて各自でペースを設定し、ペアでコーチングし合い練習することで、積極的に取り組む姿が多く見られた。昨年度は歩く距離が多すぎて時間内にゴールできない生徒が多数いたが、今年度は制限時間内に全員ゴールできた。来年度も生徒それぞれの目標設定（記録を目指す・体力向上・健康のためなど）をしっかりさせながら、生徒にとってより有意義なものにしていきたい。

④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・夏休みの宿題として家庭でお弁当を作り、保護者にコメントを書いてもらう取組を行ったり、給食センターとタイアップして食育の授業を行ったりした。来年度はメディアの利用など生活習慣に関しての取組を、小中連携して行いたい。
・前期教育課程との連携については、運動場、用具の共有などが当面の課題であるが、全校で行う体育祭などを通して、試行錯誤しながら連携を深めていきたい。